



震災支援情報

- ・手作り米を寄贈 川面小学校と成羽FOS少年団の児童と成羽FOS少年団の団員は、東日本震災の被災者に米を届けようと、農家の協力を得て川面町内の田んぼ8ヶを借りて、米作りに挑戦。
- ・4月中旬にもみまきをして苗づくりから開始、5月13日に田植えを行いました。
- ・稲は順調に育って、9月5日には稲刈りを済ませ、コシヒカリ約330キを収穫。
- ・当初は、被災地に米を直接送る予定でしたが、市内に避難している世帯に対し、米を1年間無償提供する支援を行っていることを聞き、市を通じて市内の被災者に米を贈ることになりました。
- ・精米された約300キの米は、応援のメッセージを寄せ書きした米袋に詰め、10月12日に代表の児童らが「支援米」として寄贈。

川面小学校5年生、6年生の児童と成羽FOS少年団の団員は、東日本震災の被災者に米を届けようと、農家の協力を得て川面町内の田んぼ8ヶを借りて、米作りに挑戦。

4月中旬にもみまきをして苗づくりから開始、5月13日に田植えを行いました。

稲は順調に育って、9月5日には稲刈りを済ませ、コシヒカリ約330キを収穫。

当初は、被災地に米を直接送る予定でしたが、市内に避難している世帯に対し、米を1年間無償提供する支援を行っていることを聞き、市を通じて市内の被災者に米を贈ることになりました。

精米された約300キの米は、応援のメッセージを寄せ書きした米袋に詰め、10月12日に代表の児童らが「支援米」として寄贈。



近藤市長へ支援米の目録を手渡す代表児童の皆さん

東日本大震災義援金の受付期間を、来年3月31日まで延長しましたので、引き続きご協力をお願いします。

◎義援金箱設置場所

- ・福祉課、市民課
- ・各地域局、各地域市民センター
- ・市社会福祉協議会本所および各支所

受付は、平日（月～金）の午前8時30分～午後5時15分。

市は東日本大震災で被災し、市営住宅等へ入居されている世帯に対し、米を1年間無償提供する支援を行っています。提供期間は、平成24年8月末までです。

引き続き、無償で米を提供してくださる人を広く募集しています。

■問い合わせ・申し出先 福祉課社会福祉係 ☎0281

和歌山県

台風12号災害

への義援金も
受付をしています

エリアメールで緊急防災情報を一斉送信します！

市は、緊急防災情報の通知方法の一つとして、11月1日から、(株)NTTドコモの運営する「エリアメールサービス」の利用を開始しました。

エリアメールとは、特定の区域内で電源の入っている(株)NTTドコモの携帯電話（一部機種を除く）に対して、登録の有無に関わらず、一斉にメール配信を行い、内容を画面に表示させるサービスで、受信料は無料です。

高梁市では、市内全域を対象に、以下の場合にエリアメールを配信することとしています。

- ・震度4以上の地震情報・気象庁から自動配信
- ・避難情報等、緊急性の高い防災情報・市役所から配信

詳しくは、
<http://www.nttdocomo.co.jp/service/safety/areamail/about/>

■問い合わせ 総務課庶務管理係 ☎0207

市政アドバイザーとの懇談会

10月3日、「市政アドバイザーと市長の懇談会」を、東京都内で開催しました。

今回は、8人のアドバイザーが出席。市長が市の近況を報告し、人口減対策や観光振興などをテーマに、市政アドバイザーと意見交換を行いました。



今回の主な課題について

- ◆企業誘致が決まって、今後市内で100人を超える雇用が発生するが、それを満たすだけの人が見つからない。
- ▽東日本大震災により仕事をなくした人も多い。そこへの情報提供も考えて行くべきでは。定住にこだわらず、市外で職を探している人へも積極的に働きかけてはどうか。
- ◆企業誘致の関係で、緊急に世帯向け住宅を30戸探しているが、見つからない。
- ▽学生マンションの空室を世帯向けに使えないか。
- ◆国勢調査の結果、5年間で人口が1割近く減った。若者の流出も多い。
- ▽市内の高校、大学の卒業予定者を対象に企業を紹介するイベントをしたり、若者の職を確保する策を検討すべき。農業は基幹産業であり、新規就農者への支援を厚くすべき。
- ◆「方谷さんを広める会」を発足させた。大河ドラマ化も視野に入れて、高梁を全国に発信したい。
- ▽東京でも会を作って応援をする。NHKへも機会をみて働きかけたい。山田方谷を中心に周囲の人たちにも焦点を当て、さらに魅力を高めた形にすべき。最近では陽明学を広める活動も盛ん。「方谷の径」のようなものを検討してみてもどうか。

昨年の提言の中から

- ◆広報たかはしに連載の「地名を歩く」を市のホームページに掲載したらどうか。
- ▽ホームページに順次、掲載中。
- ◆高梁でもB級グルメを売り出せば活性化できるので
- ▽商工会議所を中心に取り組みが行われ、インディアントマト焼きそば、こんにゃくたこ焼き、ゆず味噌かつどんを高梁のB級グルメとして売り出しています。

■問い合わせ 秘書課公聴広報係 ☎0210

市長と語ろう会 気軽に市長と意見交換しませんか

「市長と語ろう会」は、市長が皆さんのところへ外向き懇談することによって、市民と行政の相互理解を一層深め、市民参加のまちづくりを積極的に進めることを目的としています。

- ①対象は、10～20人程度の少人数グループ（中学生以上）。特定の政党や宗教、または営利を目的とした団体等は除きます。
- ②テーマ・内容は自由ですが、事前に連絡願います。
- ③開催時間は、平日の午前9時から午後9時までで、1時間半程度とします。
- ④会場の手配や当日の進行、参加者への通知は申し込み者で行ってください。

※この会は、行政に対する苦情等を受ける場ではありませんのでご理解ください。

■問い合わせ・申し込み
秘書課公聴広報係 ☎0210